

ロクハ公園の野草（人の手を介しないで繁茂しているもの）を集めました。すべてではありません。花を見つけやすいものを中心にあげました。植物の場合育つ環境で背丈や葉っぱの色合いが少し変わります。そのことを合わせてご活用ください

春・真っ先に花をつけてくるもの

時には雪は降る2月春を待ち焦がれ3月のサクラの時期までを早春としました。短いものはその時期だけ、長いものは初夏あたりまで花期があります。



同時に移った写真・大きさが比べられます

立春を過ぎて 日当たりのいいところでオオイヌノフグリの水色が目を引き、もうじき春だなと感じさせてくれます。フラサバソウはそれに比べ花が小さいので注意しないと見落としがちです。どちらも地面を覆い群生します。



ヒメオドリコソウ

花の色ちがい

ホトケノザ

立春を過ぎて2 どちらもシソ科の植物大きな群落をつくれます。ヒメオドリコソウは花の形が手を合わせている踊り子のようなからです。ホトケノザも同じ花の形をしていますが、葉っぱの形が仏さまが座している蓮の葉をイメージするものです。春の七草の同名のものは別種です



タネツケソウ

ナスナ

アブラナ

菜種の仲間・十字架植物 花びらが4枚のアブラナの仲間を十字架植物と称していました。種の形状はちがいますが花の跡に種がついていきます。徐々に花が上に伸びていきます。大根や白菜・キャベツもこの仲間によく似た花や実の着き方です



カラスノエンドウ

カスマサ

カラス カスマ スズメ

スズメノエンドウ

ノエンドウ3種 「カラスのえんどう」ではなく「野豌豆」で、カラスとスズメの大きさに注目した名前です。その中間の名前がカスマ（からすのかと、すすめのすのあいだでかすま）不思議な命名です。カスマ野豌豆ではないのも不思議です。



コハコバ



ウシハコバ



ミノスマ



オランダミミナグサ

ハコベの仲間

春の七草の「はこべ」はコハコバ、ウシハコバの柱頭の先は5本出ているのに対しミノスマやコハコバは3本です。どの種も花弁は5枚ですがオランダミミナグサ以外は10枚に見えます。は花びらの付け根までまで切り込みが深いからです。コハコバとオランダミミナグサが春はやく咲きます。



シロバナタンポポ

タンポポの仲間

春の花の代名詞、しかし花期は結構長く秋に花を見ることもあります。誰もが種飛ばしを楽しむこと身近な野草です。大きく2種あるのは有名で慣れてくると雰囲気で見分かりますが、ガクの反りぐあいで見分けるのが確実です。シロバナタンポポがよく見られます



スミレの仲間

市販のパンジーやピオラも春になっていき青よく育ち花を増やします。最近では秋に花が咲いていて冬場も花をつけていますが変な景色です。春を迎えて花を出してくるのがいいです。写真のすみれたち、ちがう種類だと思ってしまうのですがもっと見つかりそうです。



ツクシ



ハナヒ



キュウリグサ



ナガイ



ススモカタビラ



シロツグサ



ススモノヤリ



ヘビイチゴ

まだまだいっぱい